

# コミュニティ主導の 災害復興と 大学の役割

Community Initiative in Disaster Recovery and the Role of Universities  
— Commemoration of the 1995 Hanshin-Awaji Earthquake —

2015年1月15日(木)  
13:00~17:30  
神戸大学六甲ホール

阪神・淡路大震災20年に当たり、第一部では国際的な災害復興経験を比較検討し、第二部では1.17と3.11の2つの震災における大学の役割、またさらに今後の大災害に備える活動の課題を論じます。

総合司会：金子 由芳（神戸大学大学院国際協力研究科教授 社会科学系教育研究府防災リスクマネジメント・ユニット長）

## Part-1 Sharing International Experience 国際的教訓から学ぶ（日英同時通訳）

Chair：Dr. Toshihisa Toyoda (Professor Emeritus, Kobe University) 豊田 利久（神戸大学名誉教授）

13:00-13:30 Role of Iwate University in the Response to East Japan Earthquake  
(Prof. Katsumi Matsuoka, Iwate University) 松岡 勝実（岩手大学人文社会科学部教授）

13:30-14:00 Lessons from 2004 Aceh Tsunami, Indonesia  
(Dr. Taqwaddin Husin & Dr. Teuku Alvisyahrin, Syiah Kuala University)

14:00-14:30 Lessons from 2011 Christchurch Earthquake in New Zealand  
(Dr. Michael White, New Zealand Human Rights Commission)

14:30-15:00 Lessons from Turkey in Hundreds Years of Disaster Management  
(Dr. A Tolga Ozden, Süleyman Demirel University)

15:00-15:30 Q&A

## Part-2 神戸、東北、そして徳島へ：被災者の声を聞き取る大学の役割と方法論

司会：紅谷 昇平（神戸大学大学院国際協力研究科准教授）

16:00-16:20 「神戸の経験から：市民1万人アンケート」  
本荘 雄一（神戸都市問題研究所研究部長）

16:20-16:40 「東北からの教訓：被災地調査の方法論」  
苅谷 智大（東北大学工学研究科特別研究員）

16:40-17:00 「被災の検証なくして復興なし—岩手県大槌町における被災状況調査より」  
麦倉 哲（岩手大学教育学部教授）

17:00-17:20 「徳島の挑戦：美波町における事前復興まちづくり計画の試み」  
井若 和久（徳島大学地域創生センター学術研究員）

17:20-18:00 Q&A

懇親会(18:30-20:00) 滝川会館1F食堂

主催：神戸大学震災復興支援プラットフォーム

共催：神戸大学社会科学系教育研究府、同都市安全研究センター

東北大学災害科学国際研究所、岩手大学地域防災研究センター、徳島大学地域創生センター

入場  
無料